

8心テープドロップの E4心成端モジュール「FA」への心線収納方法の見直し

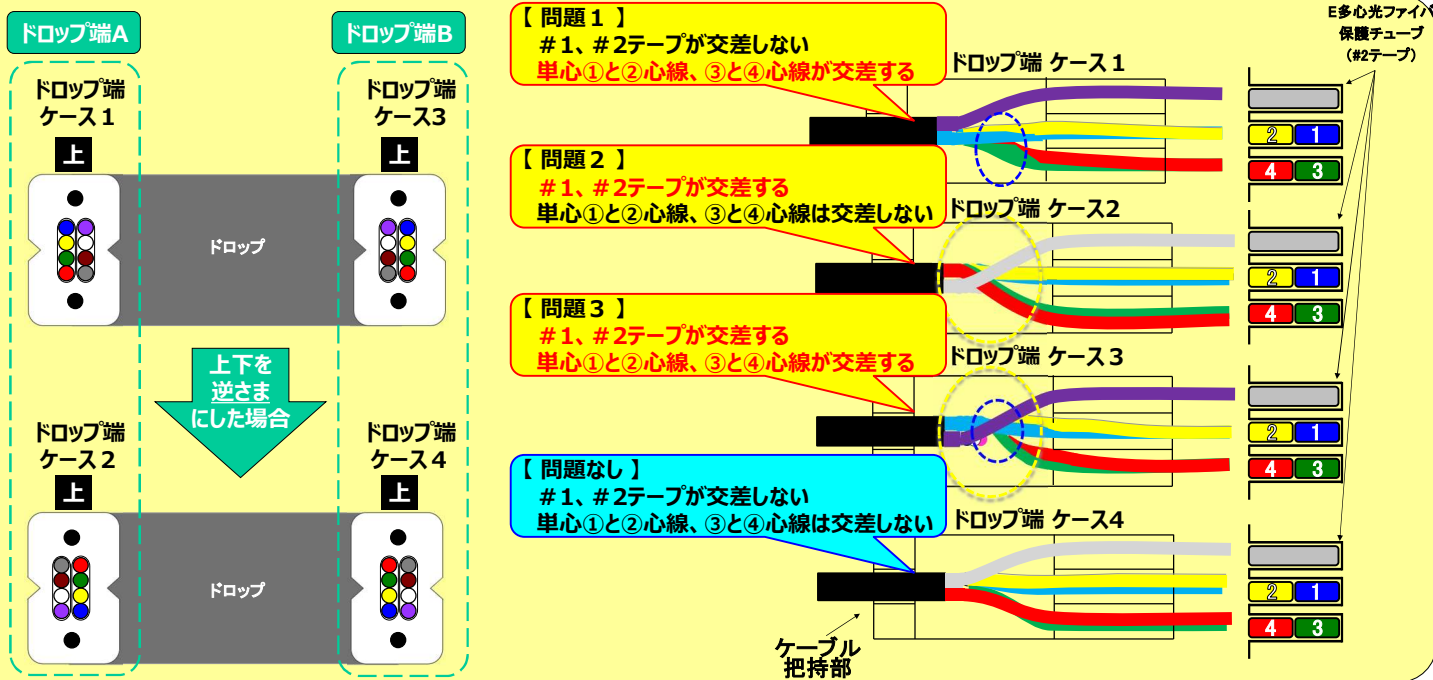
概 要

2025年度 採用C
NTT西様

光ファイバ心線が交差しないような収納方法に見直すことで、
施工および保守において品質の向上を図る。

工 法

【既存工法】



【提案工法】

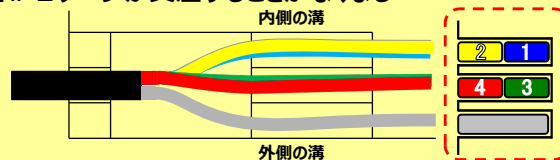
<ドロップ端Aの場合>

図のような規格に見直す。

なお、ドロップ端1の場合は Eキャビ導入口までに ドロップを反転させ、ドロップ端2 の状態で E キャビに成端する。

『インドアチューブ』の固定に関しては

- # 1・2 心線を内側の溝、# 3・4 心線を真ん中の溝、『E多心光ファイバ保護チューブ』を外側の溝とすることで、
- # 1テープの単心①～④心線と# 2テープが交差することがなくなる

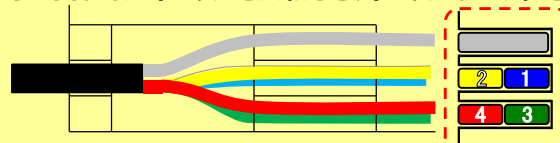


<ドロップ端Aの場合>
『インドアチューブ』の固定溝
の工事規格を見直す

<ドロップ端Bの場合>

現行の規格のままとする。

なお、ドロップ端3の場合は Eキャビ導入口までに ドロップを反転させ、ドロップ端4 の状態で E キャビに成端する。



<ドロップ端Bの場合>
現行の工事規格を踏襲

※ 工事規格を<ドロップ端A> <ドロップ端B> の2種類の配線形態に見直すことにより、心線が交差しない工事規格とする